

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

医療法人として、患者様や利用者の方々が住み慣れた地域でその人らしく生きていくことが出来る様に支えるとともに、質の高い医療・介護・福祉サービスが継続的に提供できるよう、地域医療の実現に努めてまいります。また地域から信頼される病院・施設であり続けるために、患者様とそこご家族に寄り添い、安心して医療を受けていただけるよう全職員で取り組みます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域住民の方々向けに公開健康講座を開催し、健康維持・増進に関する普及啓発活動を実施する。また、地域で実施されているサロンや健康教室などにおいて保健師、健康運動指導士等の専門職を派遣し、健康で安心に暮らせるよう支援する	・公開健康講座 2023年3回→2026年4回実施 ・職員派遣 2023年2回→2026年3回
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・ペットボトルや空缶、空瓶、段ボール類、廃プラ容器などのリサイクル資源の有効活用を行う	・使用済切手やペットボトルのキャップの回収を実施し、ワクチンの寄付などを行う 2023年236kg→2026年250kg
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・男性職員の育児休暇取得推進 ・障がい者、外国人、定年再雇用制度など様々な背景をもつ人が働ける場を設け、また短時間勤務などの多様な働き方の推進、離職率の低下、子育て支援などを目標に職員が働きやすい職場環境を構築するため、ワークライフバランス推進委員会にて協議、検討する	・男性職員の育児休暇取得 2023年4名→2026年6名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

熊本市などと連携した介護予防活動の実施や、患者様やご家族、近隣住民、民生委員の方への健康教室やサロン、認知症カフェなどの開催を通して健康に関する情報発信を実施している

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・安全で信頼される医療・福祉・介護サービスを提供し、早期社会復帰の促進、患者様のQOL向上に貢献するためのチーム医療の推進 ・近隣医療機関と連携を図り、患者様の症状に応じて情報共有や紹介などの対応を行っている	・ICTなどを活用した近隣医療機関及び介護サービス事業所と連携した医療提供体制の充実を図る
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	くまもとメディカルネットワークを活用し、近隣医療機関及び関係介護サービス情報事業所等と患者情報の共有を図り、医療提供体制の充実を行った	実施できた
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・食品ロスの削減のための活動 ・ペットボトルや空缶、空瓶、段ボール類、廃プラ容器などのリサイクル資源の有効活用	・フードドライブを実施し、食品ロス削減に取り組む ・使用済切手やペットボトルのキャップの回収を実施し、ワクチンの寄付などを行う
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・R3年度フードドライブを実施し、フードドライブ熊本へ寄贈した ・ペットボトルのキャップの回収を実施し、ワクチンの寄付を実施した	・フードドライブ実施 ・ペットボトルのキャップ236kgを回収(ワクチン換算30名分)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・時間外労働時間の削減 ・男性職員の育児休暇取得推進 ・障がい者、外国人、定年再雇用制度など様々な背景をもつ人が働ける場を設け、また短時間勤務などの多様な働き方の推進、離職率の低下、子育て支援などを目標に職員が働きやすい職場環境を構築するため、ワークライフバランス推進委員会にて協議、検討する	・時間外労働時間の10%削減 ・男性職員の育児休暇を、2020年2名から2023年までに10名取得 ・勤務時間に合わせた24時間保育を行う保育室の継続的な運営
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・時間外労働時間は5.1%減少しているが、10%削減は未達成であった。今後も業務改善に取り組み、削減に努めていく ・男性職員の育児休暇は目標未達成であった。今後も取得推進に向けて継続して周知活動を行っていく ・外国人の積極的雇用を実施した。また短時間勤務などの多様な働き方の推進、離職率の低下、子育て支援などを目標に職員が働きやすい職場環境を構築するため、ワークライフバランス推進委員会にて協議、検討を行っている	・時間外労働時間は、2022年度3.9時間/人、2023年度3.7時間/人 ・男性職員の育児休暇取得は、2022年1名、2023年4名、2024年3名(2024年10月現在) ・外国人の雇用状況は、2022年2名(非常勤)、2023年2名(常勤)、2024年2名(常勤)、6名(非常勤)(2024年10月現在)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。